校長室だより 第11号

校長　瀧　俊彰

台風２１号で大きな被害を受けました。

先週４日（火曜日）、日本各地が台風２１号に襲われました。上陸時も「非常に強い」勢力のままで瞬間最大風速６０メートルを超える強風が吹き荒れ、各地に大きな被害をもたらしました。本校でも教室・体育館のガラスが合計３０数枚割れ、校舎の入り口の強化ガラスも吹き飛ばされ雨で室内がびしょ濡れになりました。特に被害が大きかったのはパソコン教室で現在パソコンが使えるかどうかも点検中です。また体育館へ上がるための階段の屋根と囲いが吹き飛ばされました。さらに多数の木が折れ、根こそぎ倒れた木も何本かあり、グラウンド下のテニスコートは無残な姿となりました。

台風が通過した後、校舎の点検を行いましたが安全が確保できない状態であったので５日（水曜日）は臨時休業としました。５日は先生方全員で一日かけて割れたガラスの後片付け、吹き飛ばされた体育館の屋根と囲いの撤去、倒木の撤去など６日から安全に授業ができるように作業をしました。先生方の頑張りで、６日より平常授業ができるようにこぎつけました。ガラスも業者に連絡しましたがなかなか直ぐには来てくれません。応急的に雨が入らないような処置しかできませんでした。現在もまだそのままの状態です。体育館出入口への階段は屋根と囲いの一部が落下するかもしれない大変危険な状況であったので岸和田市の方で対応してもらい、土曜日には不安定な囲いが取り除かれました。しかしながら体育館を通常通り使用することはまだまだ時間がかかることと思います。

校区ではほとんどの地域が停電になりました。そのため信号機もつかない状態が続いて登下校の安全にも大きな影響がありました。徐々に回復していきましたが最終的に日曜日の午後になってやっと回復した地区もあったようです。大変不便な中での生活であったので疲れも出ていることと思います。

今回の台風２１号で今までほとんど経験のない被害に見舞われました。この場に及んで当たり前の便利な生活を当たり前のようにしてきた有難さに気づかされました。同時にこのような場であるからこそみんなで協力して、お互いに譲り合いの気持ちをもって生活していかねばならないことを強く感じています。さらに防災教育、防災活動の必要性を身をもって体験しました。今後の教訓にしたいと思います。各地でたくさんの方が被災されました。一日も早く元の状態に近い状況に戻れることを心から念願します。

平成 ３０ 年　９ 月　１１ 日　　岸和田市立葛城中学校